

打田翠展 ヴィーナスの果実
2016 10.1 SAT - 9 SUN

MIDORI UCHIDA VENUS FRUIT



料金後納
ゆうメール

今回、打田翠さんの作品イメージから「ヴィーナスの果実」と銘打ちました。ローマ神話の愛と美の女神、ヴィーナス。その体のごとく滑らかで豊かなフォルム。熟れた果実のような奥行きのある色。女神のエロスと優しさが共存する造形物。それを手にする人を幻惑の世界に引き込むのです。

打田さんは、岐阜県瑞浪市にて制作する女性陶芸家。大阪芸大陶芸コースを卒業した後、さらに多治見意匠研で独自のスタイルを築きました。その特徴は、曲線的なフォルムと楽焼や炭化焼成による変化に富んだテクスチャーです。

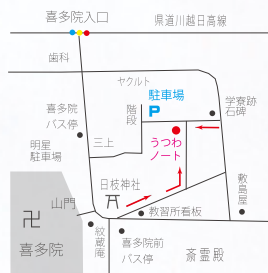
楽焼とは「手捏ね」と呼ばれる方法で成形した後、低温で焼成した軟質施釉陶器のこと。打田さんの場合、金属粉を粘土に練り込んだ後に、ろくろを使わず手捻りによって滑らかな形に成形します。約1000度の窯で焼成後、まだ熱いうちに引き出して炭化・急冷させることで、ひとつひとつ変化のある質感が表れるのです。

成形も焼成も意図的に行う作業ですが、最終段階で作品の表面におこる変化は、人智の及ばぬ神秘的な力によって生み出されます。打田さんは、仕上げを神の手に委ねるこの表現手段に創造性を感じているのです。

今回、このような手法による花器、オブジェの他に、日常使いのボウル、プレート、カップが並びます。「ヴィーナスの果実」。それは禁断の実か、はたまた至福の美か。どうぞ皆様もその誘惑にご自身の身を委ねてみてください。店主

打田翠プロフィール

- 1983年 兵庫県神戸市生まれ
- 2005年 大阪芸術大学工芸学科陶芸コース卒業
- 2007年 多治見市陶磁器意匠研究所 修了
- 2016年 現在 岐阜県瑞浪市にて制作



電車：川越駅(東武東上線・JR)より徒歩25分
本川越駅(西武新宿線)より徒歩20分
バス：駅東口3番乗場 [小江戸名所めぐり] ~ [喜多院前]
駅西口2番乗場 [小江戸巡回バス] ~ [喜多院]
車：ギャラリー専用の駐車場は北側(5~8番)

ギャラリー うつわノート

埼玉県川越市小仙波町1-7-6
TEL 049-298-8715
MAIL utsuwanote@gmail.com

打田翠展 ヴィーナスの果実
二〇一六年十月二日(土) ~ 九日(日) 会期中無休
作家在廊日 十月一日(土)・二日(日)・九日(日)

営業時間 十一時 ~ 十八時

